

□ 東光の実績紹介(既設橋梁の点検業務)

『21世紀は保全の時代』＝建設から約80年経過した橋の定期点検…

今回ご紹介するのは、在原業平が「名にしおはば いざ言問わん都鳥 わが思う人はありやしやと…」と詠んだ和歌にちなんで命名されたとの説がある、言問橋の定期点検業務実績です。

言問橋(写真-3)は昭和三年に震災復興橋梁として、言問通りが隅田川を渡河する地点(台東区聖天町～墨田区隅田公園)に架設されました。

橋梁形式は、主径間部が3径間ゲルバー式非合成鋼桁(橋長161.2m)、両側のアプローチ桁は3径間連続非合成鋼桁(橋長38.0m)です。主桁を静定構造とするため、中央径間に2つのゲルバーヒンジ(写真-4)を設けて、両側の張出し桁で吊桁を支持する構造となっています。

今回の点検目的は、近接目視による定期点検および第三者被害予防措置点検を実施し、橋梁の損傷及び変状を早期に発見する事により安全・円滑な交通を確保するとともに、沿道や第三者への被害防止を図り、橋梁に係る維持管理を効率的に行うために必要な基礎資料を得ることでした。

点検車(写真-5)による点検結果は、建設から約80年経過しているにもかかわらず致命傷となる大きな損傷はなく、軽微な損傷のみでした。主な損傷としては、漏水・滞水、腐食、および断面の欠損が数箇所見られただけです。

建設当時には予想もできないような大型車両が頻繁に通行していますが、慎重な設計・施工と適切な維持管理を行えば“橋梁は長持ちする”ことを実証しています。

当社では、橋梁点検業務実績が豊富な有資格者が橋梁点検業務に従事し、アセットマネジメントのお手伝いをしています。



写真-3 言問橋全景



写真-4 ゲルバーヒンジ



写真-5 点検車による調査



株式会社 東光コンサルタンツ 技術本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32番1号

TEL: 03-5950-7203 FAX: 03-5950-3652

URL: <http://www.tokoc.co.jp>

担当: 本社事業部 技術第二部 渡邊、石嶋、山本

担当営業: